

地方力

謹賀新年

今年も宜しくご指導賜りま
すようお願い致します。
前野事務所スタッフ一同

緊急提言
平成22年新年

発行
前野弘明後援会
岩国市通津1951-1
0
岩国市由宇町4460
電話39-0007



新自由主義宣言

- 一、言葉や行動に責任を持つ（知行合一）。
- 二、公私（個と全体）両面の効果を明確にした目標を設定し、率先してその目的を達成する。
- 三、原則や道理を重んじ、総合的判断をする。
- 四、家庭を理想的基盤とし、道義国家の実現に努める。

一、
二、
三、
四、

私たちはいつごろから間違

いや失敗の原因を「他の仕業」にしてきたのでしょうか。地球温暖化に象徴する環境問題も、荒れた社会の原因も、身の回りに起きる全ての出来事に対し自分が自らの責任で解決しようという行動規範が今問われています。そういった、私の課題として捉えることが出来る「自己完結型社会」を目指していけたらどんなに素晴らしいことでしょう。維新の地から「新自由主義宣言」を発し、あわせて、「いわくに再建宣言」を提案し、新年に相応しいスタートをしたいとおもいます。賛同される方の積極的参加を希望します。

外交や安全保障は、国民の命や財産を護る国会の大きな課題です。米中を等距離に置くということは、日本を共産革命の渦中に入れるということ。最も危険な状況に突入した「日本丸」は、良識ある国会議員の責任で正して欲しいものです。

在日米軍の再編問題は、日米の政府間の課題です。内閣が責任をもって早急に決断すべきです。地方に判断を委ねると、内紛になります。

いわくに再建宣言

- 一、真のボランティア活動を通じて、自立の精神を養う。
- 二、「いわくにしぐさ」を興し、互いに支えあう社会を実現する。
- 三、自然や歴史を大切にし、新しい文化を創造する。

一年間、議会での重要なポストである「監査」の役を終え、次のステージへ向かって、地方力の強化と一步前の決意で前野弘明は今年も精進させていただきますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

岩国市議会議員 前野弘明

生活を護るのは、地方自治体の課題です。不平不満を解消する努力と、夢や希望の基盤である融和・愛和・慈悲の精神を涵養する責任があります。今年も、自己完結型社会の基盤形成の為の江戸しぐさの理解と普及を目指し、「いわくにしぐさ」を興していきたいと思っております。

12月議会 一般質問 富頭

アメリカ発の経済危機の影響から脱しえないまま、わが国では政権交代となり、重要な日米関係も悪化したばかりでなく、国の将来像も見えないまま、新しい年を迎えようとしております。「兄の横暴と弟の傲慢は

どちらが許せるか」との問いに、どの様に答えるかを尋ねられているようです。確かに、長期政権の座にあった自民党にも問題はありました。日本国が迷走しないように早急に改めるべきは改めて頂きたいものであります。古来「まつりごと」は神官によって執り行われておりましたが、近代になってその主権を国民に渡し、構成員の判断を集大成していく「政治」が行われるようになったといえます。民主主義社会は、自らの信念に基づく発言や主張は誰にでも自由出来るようになっておりますが、目的を共有し信頼関係ができていない社会に於いて成り立っているわけです。

その点から、現代の混沌状態から世界が脱却するために、「国連中心主義」が考えられますが、その実現には「民族や宗教等を一まとめにできるだけの壮大な倫理道徳観を確立しなくてはならない」ということになるのであります。

「宇宙船地球号」は大倫理観という柱なくして、成立しないのです。友愛では限界であるように思われますがどうでしょうか。

とまれ、市民を路頭に迷わせてはならないわけで、混沌とした現状で地方からも国の再生を開始しなければなりません。

ところで、人類歴史始まって以来人は恒に「自由」を求めてきました。自らをも解放する「自由」が「人格完成」を目指すように、社会も自由主義で成熟社会実現を目指してきました。

地方にあっても、最良の社会実現のため、郷土を愛する者たちを結集して、本心からやりたいことを実行するボランティア活動が求められております。市民の皆様の中にも私の周りにも、

国の一大事には全財産も差し出すという方がおられます。そして、すでにそのための行動を起こしておられるといえます。子供達の未来のためには、一文無になってもよい覚悟でいるのです。近い将来、彼らの行動がつまびらかになったとき、感謝の思いは未代続くでしょう。

彼らの目には、今の世情を見るにつけ危機感を感じざるを得ないのです。そういう活動を支えていくことは自立した地域社会づくりにとって最も必要なことと考えます。

世情は自分さえええればという考えが蔓延しており、事件犯罪が絶えません。問題点を探し出し上げることを喜びとするような風潮があつて良いはずがありません。

仕分けの現場が、全学連が行った学長回交の場面とよく似ているのはどういうことでしょうか。

兄の交わした契約を、弟が破棄するにはそれなりの重大な理由が必要でしょう。また、違約に対する保障はどうなるのでしょうか。

国と国との約束はもっと重く、国旗を変えたのならまだしも、二大政党の理念をもつのなら政権が変わることも、対外政策はほとんど変化ないはず。このままでは日本は滅びる。

崇高な意識の持ち主がおられる間に何とか手をつたねばなりません。

この国と地球の未来の為、恒久平和を建設する決意のもと、新しい時代を創造するにおいて地方から「新自由主義の提示」のプロジェクトとします。

平成二十二年十二月十日岩国市議会一般質問

市政クラブ 前野弘明

